

## 薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記  
薬剤部 小泉 祐一

2019年5月17日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

## ① 新規採用医薬品

シプロフロキサシン点滴静注液 400mg 「ニプロ」 (総合診療センター)

薬効： ニューキノロン系注射用抗菌剤

申請理由： 現在、シプロフロキサシン点滴静注液 300mg が採用となっている。しかし、最近の推奨量は 400mg となっているため、変更を申請する。

採用中止薬剤： シプロフロキサシン点滴静注液 300mg

ラグノス NF 経口ゼリー一分包 12g (消化器内科)

薬効： 生理的腸管機能改善剤・高アンモニア血症用剤

申請理由： 現在採用のラグノスゼリーは慢性便秘の適応がない。本剤は適応がとれている。また、ゼリーの量が減量されており服用しやすい。また投与期間の制限がない。

採用中止薬剤： ラグノスゼリー一分包 16.05g

ナルサス錠 2mg/12mg (外科センター)

薬効： 持続性癌疼痛治療剤

申請理由： 1日1回投与でオキシコドンと同等の鎮痛効果あるため、患者の服用負担を軽減できる。モルヒネと異なり、代謝物に活性がないため腎機能低下例にも使用可能。オキシコドンと異なり、CYP代謝の影響を受けない。

採用中止薬剤： アンペック坐剤 20

ナルラピド錠 1mg/4mg (外科センター)

薬効： 癌疼痛治療剤

申請理由： ナルサスのレスキュー薬として使用。

採用中止薬剤： テルロン錠

ビスダイン静注用 15mg (眼科)

薬効： 加齢黄斑変性症治療剤

申請理由： ビスダインによる光線力学療法 (PDT) により、正常網膜への損傷を抑え、脈絡膜新生血管 (CNV) を選択的に閉塞することが期待できる。また脈絡膜血管にポリープがあり、脈絡膜が厚い症例には抗 VEGF 薬と初回併用を行うことにより、長期にわたる抗 VEGF 薬の頻回投与を減らすことが期待でき、そのような患者の通院や経済負担を軽減することができる。

採用中止薬剤： なし

## ② 区分変更医薬品

ジスロマック錠 250mg 【患者限定】 → 【院外限定】 (婦人科)

ジスロマック点滴静注用 500mg 【患者限定】 → 【本採用】 (急病救急センター)

## ③ 後発品変更について

後発品が年に2回、発売されるため、継続的な後発品の変更が必要

先発名	後発名
ティーエスワン配合 OD 錠 T20/25	エヌケーエスワン配合 OD 錠 T20/25

※これまでどおり、外来での処方先発品での対応もできるようにします。